

やすらぎ短信

令和4年
3月号

雛祭り



三月三日は雛祭です。上巳（じょうし）の節句（桃の節句）ともいいます。雛祭りに飾る雛人形の元は、草木や紙でつくった人形（ひとがた）で、これに罪、穢れを移して、川や海に流し、不浄をお祓いするためのものでした。この人形が次第に豪華になり、江戸時代後期には、宮中の雅な装束を正確に再現した古今雛（こきんびな）が現れ、大正時代中期には、今のように人形と道具を一式揃えたものになりました。

【ひな人形について】

- 内裏雛（だいらびな）
天皇・皇后になぞらえた雛人形で、雛段の最上段に飾ります。



- 三人官女（さんにんかんじょ）
お内裏様のお世話係です。真ん中の官女だけが既婚者で、眉を剃り、お歯黒をしています。

- 五人囃子（ごにんばやし）
雅楽を奏でる「楽士」、又は能楽を演じる「囃子方」（はやしかた）と「地謡」（じうたい）で場を盛り上げます。

- 隨身（ずいしん）
警護の武官を指しますが、右大臣・左大臣と俗称で呼びます。向かって右が左大臣、左が右大臣になります。左大臣が格上のため老人の姿です。

- 仕丁（しちよう）
雑用を司る者たちで、怒り（短気な若

者）、泣き（悲観的な中年）、笑い（笑顔の老人）の三つの表情が表現されおり、年齢を重ね人生経験を積んで円満になる人生模様を表しています。

春分の日・お彼岸

春分の日は、昼と夜との長さがほぼ等しくなる日で、中日（ちゅうにち）ともいいます。この日の前後三日間の計七日間を「彼岸」（ひがん）といい、ご先祖様に感謝を捧げます。この日、宮中でも春季皇霊祭（しゅんきこうれいさい）と春季神殿祭（しゅんきしんでんさい）が行われ、歴代天皇と天地の神々に神恩感謝を捧げる祭典が行われます。

春の社日祭

社日とは、春分の日、秋分の日にそれぞれ最も近い戊（つちのえ）の日を指します。社日祭では土地の神様・農耕の神様に五穀豊穰と農作業の安全を祈願致します。



官司の一筆

癌患者に寄り添う曲「今を生きる」

先月、札幌市在住の歌手、佐脇由佳さんの新曲「今を生きる」のMV(ミュージックビデオ)撮影が境内で行われた。佐脇さんとの出会いは昨年十月、乳神神社参拝がきっかけ。希少癌と闘いながら、歌い続ける佐脇さんから「出身地、十勝に恩返しをしたい」とのご相談を受けた。コロナ禍でコンサートの開催は難しい。そこで、佐脇さんが癌患者さんやその家族の心に寄り添える曲を書き下ろし、動画撮影隊「うらほろclick」が浦幌の自然を背景にMVを撮影、YouTubeで配信することになった。現在、二人に一人が癌になるといわれている。癌との闘いはとても孤独である。新曲「今を生きる」が多くの癌患者やその家族の心の支えとなり、生きる力となることを心から願う。新曲は四月中旬に完成予定である。



第六回癒しの杜(もり)

作品展のご案内

第六回目となる癒しの杜(もり)作品展が左記の通り開催されます。コロナ禍のストレスをどうぞ癒しに来て下さい。

日時 令和四年三月一九日〜二十一日

午前十時〜午後四時

場所 浦幌神社社務所

出展される作家さん(敬称略)

- handmade shop cat's-愛
- 杜の住人 ● 田頭保 ● みいママ
- みずさわうい ● 水デカポン
- 浄化木炭 M Loop



※新型コロナウイルスの感染状況により四月に延期する場合がございます。

シマエナガのお守り

先月より「シマエナガ幸福開運守」の授与をはじめました。このお守りは、絵馬型、ハート型、桜型の板に雪の妖精である「シマエナガ」を描き、「幸福開運」を祈願したものです。コロナ禍でストレスを感じることが多い中、「幸福開運」への祈りをシマエナガに神社から各ご家庭に運んでもらおうと授与をはじめました。絵は「十勝ほんわかシマエナガ」の小原和恵さんが一体一体手書きで描いております。(初穂料一〇〇〇円)



浦幌神社行事予定

- 三月一日 月次祭
- 三月十五日 月次祭
- 三月下旬 春季社日祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八